

## ごあいさつ

### 決算概況のお知らせ

平成15年3月期

当社は、日本の三井住友海上グループと米国のシティグループが出資する合弁会社として設立され、平成14年9月19日に生命保険事業免許を取得し、同年10月1日より営業を開始いたしました。

平成14年度のわが国経済は、個人消費の低迷、輸出・鉱工業生産の伸び悩み等が続き、平成15年3月31日には日経平均株価が年度末としては21年ぶりとなる8000円割れを記録するなど依然厳しい状況にあります。生命保険業界におきましても、こうした経済環境を背景に、苦しい事業展開を余儀なくされておりますが、一方で、金融業界における規制緩和が進み、平成14年10月1日から、銀行の窓口で個人年金保険の取扱いが可能になりお客さまの利便性が向上するなど明るい話題も出てまいりました。

このような情勢の下で、当社は

- 最高の商品とサービスを提供し、お客さま第一主義を貫く
- 道徳性や職業倫理の高い企業を目指し、広く社会の信頼に応える
- 三井住友海上グループ/シティグループのパワーを結集し、イノベーターな発想を大切にす

という経営方針のもと、金融機関代理店を通じて変額個人年金保険を販売する事業に特化し、積極的な事業活動を展開いたしました。平成14年度については、18の金融機関で販売を行い、多くのお客さまにご加入いただくことができました。当社の変額個人年金保険をお選びいただいたお客さまにはあらためまして心より御礼申し上げます。

平成15年度の日本経済は依然楽観できる状況にはありませんが、当社はお客さまへの各種サービスを一層充実させ、お客さまのベストパートナーとして更に精進していく所存でございます。

代表取締役共同社長 山本 文夫  
代表取締役共同社長 井本 満

## 決算の概況

当社の平成15年3月31日までの事業の概況は下記のとおりです。

当期は、平成14年10月1日の営業開始以来、6か月で420億円の保険料収入となりました。

一方、当社が専門とする変額個人年金保険事業の性格上、当面は設立当初の事業負担が続くことから、当期の損益は、9.4億円の損失となりました。

保険料収入	420億円
保有契約高	392億円
保険金等支払金	1.6億円
経常損失	4.6億円
当期損失	9.4億円
総資産	490億円
資本金	61億円

## 財政状態および経営成績

貸借対照表の要旨 (平成15年3月31日現在) (単位：百万円)

資 産	金 額	負 債	金 額
現金及び預貯金	7,301	保険契約準備金	41,388
有 価 証 券	37,734	そ の 他 負 債	2,042
不動産及び動産	170	価格変動準備金	0
そ の 他 資 産	3,881	繰延税金負債	475
		負債の部合計	43,906
		資 本 金	6,125
		利 益 剰 余 金	△ 944
		( 当 期 損 失 )	( 944)
		評 価 差 額 金	0
		資本の部合計	5,180
資産の部合計	49,087	資本の部及び負債の部合計	49,087

損益計算書の要旨 (平成14年4月1日から平成15年3月31日まで) (単位：百万円)

科 目		金 額
経常損益の部	経 常 収 益	43,526
	保 險 料 等 収 入	43,499
	資 産 運 用 収 益	26
	そ の 他 経 常 収 益	0
	経 常 費 用	43,991
	保 險 金 等 支 払 金	161
	責 任 準 備 金 等 繰 入 額	41,388
	資 産 運 用 費 用	405
	事 業 費 用	4,198
	そ の 他 経 常 費 用	464
	保 險 業 法 第 113 条 繰 延 額	△ 2,627
	経 常 損 失	464
	特 別 利 益	-
	特 別 損 失	0
不 動 産 動 産 等 処 分 損 失	0	
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	0	
税 引 前 当 期 損 失	465	
法 人 税 及 び 住 民 税	3	
法 人 税 等 調 整 額	475	
当 期 損 失	944	
前 期 繰 越 損 失	0	
前 期 未 処 理 損 失	944	

## 経営の健全性の指標

### ソルベンシー・マージン比率

7,741.5%

「ソルベンシー・マージン比率」とは、大災害や株の大暴落といった通常の予測を超えて発生するリスクに対して、自己資本がどれだけ確保されているかを表す「支払余力の比率」です。

ソルベンシー・マージン比率 (%)

$$= \frac{\text{ソルベンシー・マージン総額}}{\text{リスクの合計額}} \times 100$$

#### ●ソルベンシー・マージン総額

資本の部合計、価格変動準備金、危険準備金、有価証券含み益等の合計額

#### ●リスクの合計額

保険リスク、予定利率リスク、資産運用リスク、経営管理リスクなど通常予想できる範囲を超える諸リスクを数値化して算出します。

- ・保険リスク 大災害の発生などにより、保険金支払が急増するリスク
- ・予定利率リスク 運用環境の悪化により、資産運用利回りが予定利率を下回るリスク
- ・資産運用リスク 株価暴落・為替相場の激変などにより資産価値が大幅に下落するリスク、および貸付先企業の倒産などにより貸倒れが急増するリスク
- ・経営管理リスク 業務の運営上の予想を超えて発生するリスク

### 格付け (ご参考)

格付機関	(株)格付投資情報センター
格付けの種類	保険金支払能力格付け
取得時期	平成15年4月11日
格付け	A

#### 【格付けの説明】

AAA	保険金支払能力は最も高く、多くの優れた要素がある
AA	保険金支払能力は極めて高く、優れた要素がある
A	保険金支払能力は高く、部分的に優れた要素がある
BBB	保険金支払能力は十分であるが、将来環境が大きく変化した場合、注意すべき要素がある
BB	保険金支払能力は当面問題ないが、将来環境が変化した場合、十分注意すべき要素がある
B	保険金支払能力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある
CCC以下	省略

※この格付けにより保険金支払い等についての保証を行うものではありません。

※格付けは将来変更されることがあります。

三井住友海上シティ生命  
mitsui sumitomo citi insurance

三井住友海上シティインシュアランス生命保険株式会社  
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル4F 〒100-0005  
☎ 0120-81-8107  
ホームページ: <http://www.msiciti-life.com>